

2008 ティーメイム通信

9



発行/
株式会社
みのりホーム
[ホームページ] <http://www.minori-group.com>
[E-mail] minori@minori-group.com

Tel 089-976-0047

[ホームページ更新中]
(みのりホーム)と検索してください

社長 寺川勲様



古い木造が壊れない理由

新潟県や石川県、そして中国四川省。昨年と今年だけでも、巨大地震による被害が立て続けに発生した。住宅建築に際し、「地震に強い」ことはもはや必須性能だ。この連載では、「耐震」の基本的な考え方について、かみ砕いて解説する。今回は、まず木造住宅の主要構造である「軸組(柱と梁)」からだ。建築構造の専門家で日本建築構造技術者協力会(JSCA)関西支部木造住宅レビュー委員長でもある樋原健一さん(SERB代表)に解説をお願いした。



マイホーム
よもやまばなし
ホームアドバイザー/寺川健一

〈vol.7〉
~太陽光発電~



最近、ガソリンの値上がりが本当に気になります。一体どこまで上がるのでしょうか…?石油価格の急騰と、あと41年で枯渇してしまうという危機感から、それに変わるエネルギーとして太陽光発電がより一層注目されるようになりました。

地球に降り注ぐ太陽光エネルギーは、1時間で全世界の人が消費する1年分のエネルギーに匹敵するそうです。そんなにすごいのかとビックリしました!!どおりで暑いはずです(^_^;)。

ところが、住宅などの屋根に取り付ける太陽光発電は、設置のコスト高のために思うように件数が伸びていません(松本市でH17年342件、H16年266件、H19年201件)。容量3kwのもので230万円くらいの費用になりますので、もとをとるには20年くらいかかるようです。

そこで、国や地方自治体は、太陽光発電を普及させるため政策として検討し始めました。6月22日付の日経新聞には「経産省が今後3-5年で住宅用発電システムの価格を半額にする目標を示した」とありました。税制上の優遇や補助金なども検討されているようです。

地球環境にも、お財布にも良い、太陽光発電は資源の少ない日本にとって、主要な産業の柱になるかもしれません。



新築を考えている方必見!! 「家づくり失敗体験談」

〈小冊子〉無料
プレゼント!
20名様
限定!!

※郵便でお届けします。

はじめて家を建てる人なら、誰でもウカウカやってしまう、家づくりの失敗。
実際に失敗してしまった本人たちの声で満載した小冊子を無料でプレゼントします。

家づくりを考えている人の多くは、住宅雑誌を一度は手に取り、好みの外観や色使い、リビングの雰囲気などを研究していらっしゃいます。

しかし、これから家を建てる人にとって本当に役に立つのは、最近、実際に家を建てた人達の声です。

多くの人にとっての家づくりは一生に一度しかありません。だからこそ、誰もが同じようなポイントで間違ってしまいます。

でも、この「ためいき失敗体験談」を読んでいただければ、資金計画での失敗談や業者選び、そのほか水廻りの失敗談など、主婦層の意見を中心にイラスト入りで紹介してありますので、とてもわかりやすく、参考になること間違いなしです♪

ご希望の方は、お電話、FAXまたはメールで「ためいき失敗体験談」希望とお申込ください。



無料プレゼント希望の方は今すぐ!

Tel. 089-976-0047
Fax. 089-976-0049
[E-mail] minori@minori-group.com

シロアリ10年補償を始めました

「キソバッキング工法」とは、シロアリが嫌う乾燥した床下環境をつくることで、シロアリの被害を防ぐという、人にも環境にも優しい工法です。

この工法は、過去35年の間に120万戸の住宅で採用されています。

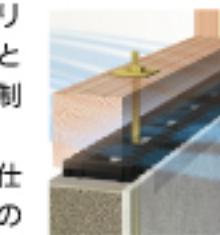
「シロアリ補償制度」は特定の基礎バッキンを使用することで、万が一シロアリ被害が発生した場合でも、10年間にわたり、最高500万円まで補償するものです。

キソバッキング工法、そしてその構成部材をき

ちんと使用すれば、シロアリの被害は防ぐことができるという自信があるからこそその制度です。

みのりホームでは、標準仕様で基礎バッキング工法での施工を行い、お施主様に対して、シロアリ補償をさせて頂きます。

一生に一度の大きな買い物である家。安心して住みたいものですね。



ていれぎ探険記

社長の介護日記 ~サイボーグ~

彼女は強運の持ち主と言うべきか、それとも口から出まかせに一パイ唱えたお題目が良かったのか、88才にして2度目の手術も無事終了した。

かつてヒザ関節置換手術をしたその上部を金属の添え板に骨を何本もビス止めしている。レントゲン写真で見る限り、全く機械部品の写真を見ている様で、よくまあこんなことが出来るものと最近の医療技術の高さには感心させられる。彼女の右足は見た目は普通のそれと変わらないが、実態はSF小説に出てくるサイボーグそのものである。

そして、手術2日目からは機能回復のリハビリをすると言う。

しかも尿の袋を下げた状態である。彼女はどう考えているのかわからぬが、この過酷な条件の中で泣き言も言わず黙々とこの作業に取り組んでいる。自分の人生の悲運を嘆き恨み言のひとつも言っても良かろうと思うが、「アリガトウ」「スミマセン」「来てくれたん」「気いつけて」の4つの言葉で毎日過ごしている。たまに「足が痛くてイカン」とつぶやくよう言うことはあるが、それはごくまれである。年相応に人生を達観しているのか、或いは認知症の為せるワザか。

ふり返って、自分の老後を想像すると、とてもこうはいかぬ気がする。周囲に文句を言い、不平の毎日を過ごし、「厄介な年寄り」と皆から敬遠される老後かもしれない。それならいつその事吾を忘れる事があっても、適度に認知症が進み、愛される年寄りになりたいものである。

現場から のお便り

上棟式

O様邸

松山市満辺町の高台で、O様邸の新築工事が始まりました。

この日は上棟式で、お施主様のお孫さんたちも来られ、和やかにスタート。相変わらずの暑さでしたが、お施主様からいただいた差し入れで水分補給しながらの作業となりました。途中の休憩時には山の香りのする涼しい風がみんなの疲れを癒してくれ、工事も順調に進み無事棟上げ終了です。



東京で病身の子規が、故郷松山に帰って、高井のていれぎと三津の鯛を食べたいと思ったのであろう。僕もていれぎの里に住んで、魚釣りに行って、刺身のツマにして、一杯飲みたい。

一杯といえば、伊予節に♪高井のていれぎ♪と、松山の名物・名所の中に出でてくる。

みのり商会寺川社長の雉鍋(きじなべ)の会で、芸者さんが伊予節を歌つたことを思いだした。三味線で巧みに歌う、伊予節は情緒があってよい。

年下の友人と酒を飲んでいるとき、突然に、「芸者をあげたことがありますか」と聞かれた。「芸者を掲げる?」「天ぷらを揚げたことはあるが、芸者を掲げた事はない」年寄りの人は「昔、芸者を掲げて遊んでいた。」「芸者遊びにウツツを抜かしてねえ」なんてよく自慢話を聞く、僕も、一度芸者を掲げて「人生の樂園生活」を送つてみたい。



エッセイ・絵／玉井 恭介

お知らせ

MINORI'S Information * * * * *

What's New



- ◆2008.08.05 お盆休みは8/13(水)～17(日)となっております。
- ◆2008.08.05 中須賀(売土地)、販売開始いたしました。
- ◆2008.08.04 構造見学会(満辺町)のご案内、を掲載しました！
- ◆2008.07.31 空港通(売土地)、販売開始いたしました！
- ◆2008.07.29 土居町(中古住宅)販売開始しました。
- ◆2008.07.23 鷹ノ子(中古住宅)販売開始しました！
- ◆2008.07.16 ティータイム通信8月号、掲載しました。

*詳しくは当社ホームページをご覧下さい。 <http://www.minori-group.com>